

コミュニティ・市民生活担当長	<p>が、この計画案についてパブリックコメントを実施し、その結果がお手元にあります資料にまとめられております。それから、市議会で説明を行った際の意見も資料にあります。まず、これらにつきまして、事務局より説明をお願いします。</p> <p>「丸亀市協働推進計画」(案)につきまして、1月31日から2月29日までパブリックコメントを実施いたしまして、2名の方から11件のご意見をいただきました。その内容をまとめましたのでご説明いたします。</p>
	<p>〔配布資料 パブリックコメントの実施結果、自治推進委員会及び市議会生活環境委員協議会での意見と市の考え方等について事務局（生活課）から説明〕</p>
会長	<p>パブリックコメントの結果については、公表しているのですか。</p>
生活課事務局	<p>本日、市のホームページで公開する予定です。</p>
会長	<p>協働推進計画につきましては、前回ご説明いただいております、若干の字句修正があったということではほぼ変わらない内容となっているようですが、今回のパブリックコメントの結果、その後検討いただきましたことにつきまして、只今のご説明に対して、ご質問やご意見などがありましたら適宜発言をよろしく願いいたします。</p> <p>今回のパブリックコメントの件数は丸亀市のパブリックコメントの中では多いほうですか。</p>
コミュニティ・市民生活担当長	<p>多いということはありませんが、大体これぐらいかと思います。</p>
会長	<p>10件ぐらいという事ですか。ただ、意見提出は2人だけということですね。</p>
企画課長	<p>今までのパブリックコメントでの結果としましては、一番多かったのが行政改革の計画に対するもので11人73件、そのほか多いのが自治基本条例策定について8人45件、総合計画策定について9人39件です。最近の例としましては、男女共同参画推進条例策定に際して昨年5月に行いましたが、1人の方から2件でした。全庁的には1人乃至2人の方からご意見をいただくことが多いということのようです。</p>
会長	<p>高木副会長のご関係のグループでこういった市民活動推進センターについて、何かご意見はありませんでしたか。</p>
高木委員	<p>市民活動推進センターがどういうものなのかという質問はでていますね。</p>

会長	今は3月議会開催中だと思いますが、協働推進計画について議員さんから何か質問は出ていませんか。
生活環境部長	3月議会で、協働について3人の議員さんからご質問がありました。協働をどう進めていくのか、また市民活動推進センターはどこに設置するのかというもので、議員さんの中にも徐々に協働が大事なんだという意識が広がっているようです。
高木委員	市民活動推進センターのことについては、前回もどれぐらい具体的に示していけばいいのか、非常に質問されやすい部分でもありますので、現時点で決まっているのはどのあたりまでなのか教えていただきたいのですが。
生活環境部長	3月議会で公表しておりますが、市民活動推進センターをひまわりセンターの3階ボランティア協議会の隣の団体活動室に設置する予定です。20年度の予算として、100万円計上しております。印刷機、ファックス、電話などの備品購入に当てる予定でございます。議会でコーディネーターを配置してはどうかというご質問がございましたが、20年度予算としては計上しておりません。今から市民活動団体の方々と運営していく中で、コーディネーターの配置も含めて今後の運営についても考えていくようにしたいと思っております。当面は、この部屋を自由に使っていただいて将来的なあり方を模索していくつもりでおります。
西野委員	その部屋は誰でも自由に使えるということですか。
生活環境部長	はいそうです。
会長	コピー機やファックスなども誰でも自由に使えるということですか。
生活環境部長	今のところは、コピーやファックスについては自由に使っていただいて結構なのですが、使用に応じた実費だけはいただくかと思っております。そういったことも含めて市民活動推進センターの運営の仕方については、当面市が入っていくことになろうかと思いますが、これから市民活動団体の方が自主的に運営していけるようにしたいと考えております。
勿田委員	それでは、前回から発展した点というのは、市民活動推進センターの設置場所と、100万円の予算だということですか。運営については当面は市が面倒を見るということで、職員を配置して運営するのですか。
生活環境部長	職員を常駐配置はできないと思います。

勿田委員	そこは何かかなりませんか。団体だけで運営していくというのではなく、市の職員をスタッフとして配置していただきたいと思います。
生活環境部長	職員の常駐はできませんが、今後どこまで市がかかわっていくのか、新年度に入って、市民団体の皆様と考えていきたいと思います。将来的には、自主的に運営していただくということは考えているのですが、そのための過程として市が運営に相当かかわっていかないと難しいと思っています。
勿田委員	コーディネーターも含めて、やはり協働そのものが動き出すまで市が相当かかわっていただかなければいけないと思います。市民活動センターをひまわりセンターに設置するというのですが、市民活動団体がそこに行っても話ができるようにしていただいた方がいいなということです。
生活環境部長	勿田委員さんが言われているのはやはり中間支援組織が必要ではないか、コーディネーターを配置すべきではないかというご意見ではないかと思います。ただ丸亀にはそういった中間支援組織がありません。香川県内にも一つしかない状態です。またコーディネートといいましてもいろいろな相談があります。子育てや老人問題など様々な相談がありますから、どのような人をコーディネーターとして配置したらいいかを、新年度になってから市民団体の方とお話をする中で決めていきたいと思っています。
会長	市民活動推進センターを作って一歩前進ということで、その後どうしていくかというお話ですね。
熊谷委員	市民活動推進センターは「ゆめネットワーク」のように市の方で加入団体を限定というか予測しているのですか。それともそうではなくて色々な団体に通知して意見を吸い上げるということですか。今のお話では市民活動団体というと私たちが考えている市民活動団体とこの協働推進計画の中でいう市民活動団体は違うのではないかと思います。
生活環境部長	ここでいう市民活動団体には、コミュニティを含めてNPOなどの市民団体、NPO法人は24団体ありますが、そういった団体を考えています。
勿田委員	丸亀市内で24団体ですか。
コミュニティ・市民生活担当	はいそうです。法人としては24団体ですが、法人組織以外でその他色々な自主的な活動をしている市民活動団体は100以上あります。市の方で十分把握できていないところもありますが、そういった市民活動団体も対象に考えています。
西野委員	市民活動推進センターを使用する際には、市民活動団体としての申し入れが必要な

	<p>のですか。</p>
生活環境部長	<p>事前に使用簿等に届出をしていただこうと思っています。自由に使っていただいて結構なのですが、そうしないと目的外に個人的に使うようになってしまいますので、市民活動推進センターの設置意義や使用についても周知したいと考えています。</p>
コミュニティ・市民生活担当長	<p>当然団体の届けも必要になってくると思いますが、20年度から進めていこうかと考えています。</p>
勿田委員	<p>今のお話では、市民活動推進センターには、ファックスや電話などがあって、届出をしていただいた市民活動団体に使っていただくということですが、そのメリットがわかりません。市民活動団体はそれぞれ目的をもって活動しているのですから、果たして協働ということになるのかなと思います。つなぎ合わせるようなコーディネーターが必要ではないですか。</p>
生活環境部長	<p>市民活動推進センターを市民活動団体の情報交換の場として利用していただくという目的で当初スタートいたしますので、そこで情報収集していただこうと思っています。勿田委員さんがおっしゃるように、市民活動団体の育成という観点からみれば、コーディネーター、指導者が必要なのでしょうね。当初からコーディネーターを配置するのは難しいので、完璧ではないとは思いますが、当面は様子を見ながらやっていきたいと思っています。</p>
会長	<p>コーディネーターは人材の問題もありますし、予算もないという状況ですから、市にはそういった要望もあったということを知っておいていただくということでしょうか。</p>
勿田委員	<p>やはり職員を置いてほしいです。</p>
熊谷委員	<p>コーディネーターの役割について、事務局でいうコーディネーターの言葉の把握の仕方とこちらで考える各種団体をつなぎ合わせるというような意味でのコーディネーターの役割とは違うように感じます。先ほど事務局から色々な相談をうけるからというお話がありましたが、どうも相談を受けるということに限定しているのではないかと思います。勿田委員さんがおっしゃるような各種団体をつなぎ合わせるものとしてのコーディネーターというかファシリテーターといった支援するものとしての認識で捉えていただけたらどうかと思います。</p>
生活環境部長	<p>コーディネーターの役割についてはどこまでかということになりますが、つなぎ合わせるということも含めて、今こういう活動をしたいんだけどどうしたらいいか</p>

	<p>わからないといった場合に相談を受けて適切なアドバイスをできるような人を配置する、育成指導していくという役割もあると思います。</p>
熊谷委員	<p>それは団体以前の問題ですね。言葉の受け止め方の違いというか、ニュアンスの違い、温度差のようなものを感じます。</p>
生活環境部長	<p>コーディネーターの役割についてはつなぎ合わせることもともに市民団体を指導育成することも考えております。市議会で「市民活動推進センターに市民活動団体の指導育成できるようなコーディネーターを配置してはどうですか。」というご質問がありましたので、そういった観点からお話をさせていただいたわけです。</p>
会長	<p>各委員さんのお話にもありますように市民の方も非常に関心が高いと思うのですが、そういった市民の方のご意見をいただいて、運営等に関してそれを調整して答えを返していくという場を今後作るということは考えているのですか。</p>
生活環境部長	<p>この自治推進委員会もそういう場だと考えております。ここでいただいたご意見などを集約して、実現できるものについては今後反映させていきたいと思っております。この場以外に議論をする場を特には考えておりません。</p>
会長	<p>それでは、こういったような場で意見をいただいて、その意見を集約反映していくということになりますね。</p>
生活環境部長	<p>色々な意見を出していただきたいのです。私方も初めての試みでどうしたらよい方向に向かっていけるのかよくわからない状態ですので、できる限りのご意見をいただきながら協働を推進していきたいと思っています。</p>
菅井委員	<p>協働について、インターネットで調べてみますと、先発しているところでは20年も前から行っているのですね。丸亀は後発ということになります。3ページの協働イメージ図に「課題の発見」とありますが、市民等ではなく市職員が課題を発見し、組み立てているように思います。主体を市民において、市民が何らかの疑問を持ったとき、市がどういいものを実施計画として組み立てて指導するのかだと思っております。</p>
会長	<p>どうやって問題を解決していくかということになりますね。</p>
菅井委員	<p>神戸市のホームページに協働についての例示がありました。神戸市は阪神大震災からの復興を理念として「市民が主体のまちづくり」を進めていて、例えば美しいまちということで市内の清掃という課題に気づいたとしたら、市民はまず市へその課題を持っていく、市はその課題解決というか課題をさばいていって市役所の中で持っていった解決できない課題については市民に対して「清掃をする仲間を集めてみてください</p>

	<p>い。」などと一つの意見としてコーディネートをしていくわけです。とりあえず課題を吸い上げる場所が市役所にあるということからスタートしているようです。</p>
西野委員	<p>市民活動推進センターではないのですが、市民団体が事業の場としてコミュニティセンターを利用しています。この事業に地域の住民が参加しています。こういった場合は使用料がかからないと聞いています。他の施設をヨガや太極拳などに借りた場合はお金がかかります。コミュニティの人が借りる場合とで差が出てくるわけです。コミュニティセンターも使用料を取っても良いのではないのでしょうか。仲間作りの場としてコミュニティセンターを利用していくのもいいと思います。費用負担がバラバラではいけないのではないかと思います。</p>
生活環境部長	<p>今コミュニティセンターに指定管理者制度を導入しておりまして、なんでも無料という考え方を見直していかなければいけないなと感じています。</p>
会長	<p>そういったコミュニティセンターの費用負担についても見直しをして公平を図るようということですね。</p>
岡委員	<p>菅井委員さんのお話で身近な問題を持ち込める場ということなのですが、日頃から思っていたことで、今、少子化が問題になっていますが、子供を持った女性が生活や仕事をしながら、また色々な活動していく中で、子供を預かってくれるようなところもあればいいなと思ったりします。いい人材を確保して、場所も身近なところにあるといいと思います。そういった気づきを持ち込める場は、受け止めてもらえる場から協働事業が始まっていくように思います。</p>
生活環境部長	<p>中間支援組織としてのNPO法人やコーディネートできる人も丸亀に作っていただければいいとは思いますが。</p>
会長	<p>問題を持ち込んで、すぐに結果がわかるようになるといいですね。</p>
高木委員	<p>市民活動推進センターの運営検討委員会の構成者はNPO法人だけなのですか。</p>
コミュニティ・市民生活担当長	<p>いいえ、NPO法人に特化しているわけではありません。広く総体的に色々な団体から構成者を選定したいと思っています。</p>
芻田委員	<p>1 ページに「市民等」という言葉がありますが、「市民等」とひとくくりにするのは無理があるように思いますがいかがですか。今、企業が社会的役割を果たすということが非常に注目されています。企業には協働事業に積極的に関わって取り組んでいただきたいのです。名古屋のトヨタ自動車等はそういった取り組みをしているようです。</p>

生活環境部長	協働には事業者も含めて考えています。現在も事業者が参加して協働事業が進んでいる例もあります。今、今治造船が丸亀港周辺の美化を目的とした清掃活動を推進していて、市職員も一緒になって「海の日」に清掃をしています。
岩崎委員	私方のコミュニティもそういった活動を行っています。土器川の清掃活動を行っていますが、地元の企業に声をかけて、フジグランなどは50人ぐらい出て活動していただいています。また、防災活動には企業として参加しています。コミュニティが計画したものに企業が賛同して参加している、協働している事業ということになりますね。
コミュニティ・市民生活担当長	徳島の例ですが、大塚製菓などが環境浄化の活動をする際に、水質検査の機材を徳島大学が提供しています。事業者との協働が進んでいるという例だと思います。
菅井委員	丸亀でも30社ぐらいが港振興組合で丸亀港周辺の美化清掃活動を行っています。丸亀市の建設業協会がその活動に賛同して広がっていったということです。その活動が良いとなれば、その活動を協働として膨らませていくネタになるのではないかと思います。
会長	いろんな活動をしている団体があって、その活動を知っていただくことが大事ですね。
菅井委員	自力で地域活動などのボランティア活動を計画して実行できる企業は少ないと思います。
熊谷委員	ガールスカウトの活動をしています。子供たちは今、居場所がない状態ですが、行政組織の枠を超えて綾川町の羽床公民館を拠点として活動させていただいております。これも協働になりますね。
岡委員	5年ほど前から丸亀ロータリークラブが小学5年生を対象に「中学生になってほしいこと」をテーマに中学2年生の未来の自分に手紙を書くという「未来への手紙」というボランティア活動を行っています。藤井高校では、本島の植林や丸亀駅を中心とした通学路の清掃などボランティア活動にも積極的に参加しています。そういった情報が次の活動には大切だと思います。
西野委員	私どもの自治会では田村池の清掃活動をしています。この活動も徐々に広がりが出てきているように思います。
喜多委員	私はコミュニティの役員や民生委員をさせていただいているのですが、合併してか

	<p>ら行政と市民の間に意識の差があるように思います。コミュニティとは何なのか、市民団体とは何かといった言葉の意味づけを市民にお知らせする必要があるのではないかと思います。</p>
生活環境部長	<p>コミュニティ組織を推進する背景には、自治会の加入率低下の問題があります。旧綾歌地区では自治会の加入率が80%以上ですが、旧丸亀地区では60%という状態で、自治会の加入率は暫減しております。そういったわけで地域を構成する住民の方全体の組織として、自治会に加入していない方も対象としたコミュニティ組織を作ることが必要になってくるのです。コミュニティの意義についてもお知らせしたいと思います。</p>
喜多委員	<p>私の地域では、子ども会が花づくりをしています。NPO法人とコミュニティが連携して活動を支援できるようにしています。</p>
西野委員	<p>丸亀のNPO法人の活動についてはあまり知られていないように思います。どういった活動をしているのか、市民の皆さんに知ってもらうように、市の広報などでシリーズ化して取り上げたらどうでしょうか。</p>
会長	<p>市役所が持っている情報について広報などを通して公表する、情報を発信することが大切ですね。</p>
生活課長	<p>いろいろな機会をとらえて、市民の皆さんに知っていただく努力をしていきたいと思っています。</p>
会長	<p>機会があれば、協働を推進している団体についてもお知らせしていくといいですね。</p>
菅井委員	<p>協働を政策的にやっていくのはこれからだと思います。既に動き出して協働事業を実施しているところ団体などがあるわけですから、それを発展させる形から始めてもいいと思います。今から始めるきっかけ作りになるのではないかと思います。</p>
岩崎委員	<p>環境美化ということで、国や香川県との協働で事業を行っていかうと考えていましたが、いろいろな法解釈の問題があつてうまく進まなかったようなこともありました。行政が古い考えにとらわれていては解決しない問題もあります。既成の概念を取り除いて、市民からの建設的な意見をとりあげるところに協働は進んでいくと思います。</p>
芻田委員	<p>事業者に期待すべきものとして、清掃や防災活動などの話がありました。8ページにNPO法人やその他の市民団体が様々な目的をもって活動しているとあります。企業が社会的な存在としての役割として必要な活動を行う、CSRを果たすことが大切であると思いますが、事業者の項目に何を期待するのかがわかりません。積極的な取</p>

	り組みの例を計画書に明記しても良いのではないのでしょうか。
鹿子嶋委員	NPO法人への丸亀市からの財政的支援はあるのですか。公募で協働事業を行っていくことに対する補助や、指定管理に対しての財政的支援はないのですか。
生活課長	補助などの財政的支援はしておりません。
鹿子嶋委員	市民の側にはそういったことを知る権利があるのではないかと思います。情報を発信してほしいですね。
秋山委員	市民活動推進センターの見取図はありますか。ボランティア協議会の隣はサークルの部屋として今まで自由に使っていたと思います。そういう意味で協働という目的だけではない色々なサークルがそれぞれの目的で自由に部屋に入ってくることになるわけです。多目的に集まることについては良いと思いますが、コーディネーターがいない中で、果たして市民活動推進センターとしての拠点になりうるのだろうかとの心配があります。双方に負担がかかるのではないのでしょうか。
西野委員	市民活動推進センターのスペースはどれぐらいあるのですか。
生活課長	20畳ぐらいです。
芻田委員	日常的に、誰でも自由にその場所を使えるというわけですね。
秋山委員	サークルの部屋はいつでも誰が入ってきても良いという場です。制限はありません。
鹿子嶋委員	市民活動推進センターというハード面の活動拠点はできたと考えて良いかと思えます。財政面で予算措置もして、これからどういう風に運営をしていくのかという問題だと思えます。コーディネーターの、現場で培ってきたノウハウをもっている専門家としての知識を活かしていかなければならないのではないかと考えます。近場で、色々な思いをまとめられるような人材を育てていくことが大切ではないかと思えます。個々の活動への思いを形にしていく、まとめる人が必要です。
芻田委員	職員の常駐が無理なら、週何日かでも来てもらえないのでしょうか。職員が定期的に来てもらえないのなら、どなたかをコーディネーターとして配置していただかなくては協働を進めるのは難しいのではないかと思います。
草薙委員	活動を活性化することが大事だと思います。いろいろな団体は活動の目的をもって会を持っています。一方で何もしていない一般の方たちや仕事をしていて何かしたくてもできない方たちがいます。そういった方々の思いを形にしていくような掘り起こ

	<p>しを考えてみてはどうでしょうか。例えば、身近な団体である自治会を中心に掘り起こしをするのもいいと思います。一つの例ですが、最近飯野山や丸亀城、土器川沿いを朝歩いてしている方たちをよく見かけますが、これも早朝ウォーキングという活動になります。身体にあった取り組み、健康になるような取り組みで継続的にできるようなものを協働で推進していくこともできると思います。一つ一つの活動をいろいろな方たちが活用し、評価し、意見交換することが大切です。自治会での掘り起こしが、協働活動の育成者を育てることにつながるのではないのでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>協働の計画にいろいろとご発言ご意見がありましたが、他にはありませんでしょうか。よろしいでしょうか。全体的には、情報の収集と発信、行政側が持っている情報を一般に発信していくということ、市民活動推進センターの運営のあり方についてコーディネーターの配置を含めて、NPOなどの活動団体等と意見交換をしていくといったようなご意見であったかと思います。今後も引き続き意見の発信をしていきたいと思います。それでは、「丸亀市協働推進計画」(案)については以上とさせていただきます。</p> <p>計画について、今後の予定はどのようになっていますか。</p>
<p>生活課長</p>	<p>自治推進委員会から市長への答申をいただきまして、庁議で報告させていただきます。その後に施行していくという予定です。</p>
<p>コミュニティ・市民生活担当長</p>	<p>事務的には、自治推進委員会の答申とパブリックコメントや市議会生活環境委員協議会でいただいたご意見をもとに方向性を決め今週中にはまとめあげて、3月24日に開催される庁議で報告することになろうかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>それではよろしく申し上げます。</p> <p>続きまして、本日の議題2のその他に移っていきたいと思います。この自治推進委員会は、幅広く自治推進に関する重要事項についての提言を行うことも重要な役割ですから、何かご提言、ご意見などがございましたらご発言をお願いいたします。何かございませんでしょうか。ないようでしたら、事務局のほうで何かございますか。</p>
<p>企画課副課長</p>	<p>協働推進計画につきましては、今後の推進状況について、本委員会にご報告していきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、第3回自治推進委員会を終了します。</p>